

# 生産現場で使う品質管理技法

## 概要

品質は現場で作りこめ、と言われます。実際に品質特性はどのような分布をしていて、どのように変化しているのでしょうか。この品質特性を統計的に処理し、工程異常を迅速にとらえ対応することが品質問題を未然に防止することにつながります。本セミナーでは現場で活用できる統計的品質管理方法を習得します。

## 対象者

生産効率や品質向上に関し改善業務に従事している方  
(エクセルの基本操作のできる方を想定したコースです)

コース番号	日程	時間	日数	総時間	定員	受講料
<b>4M005</b>	8月 2日(木)、3日(金)	9:00 ~ 16:00	2	12H	10名	9,000円
<b>4M006</b>	9月27日(木)、28日(金)					

## 内容

- 生産現場で活用できる科学的管理手法
  - 品質特性の種類
  - データの採り方、まとめ方
  - サンプリングと母集団の推定
- 統計を活用した製造・検査工程の品質向上手法
  - データのばらつきと分布
  - データの経時変化と工程異常の判断
- 生産現場に活用できる応用課題
  - 異常を含むデータを用いた要因の分析実習
- まとめ
  - 全体評価及び質疑応答



(データの採り方のイメージ)

使用機器	関数電卓、パソコン(表計算ソフト)
使用テキスト	「ExcelでつくるQC七つ道具を使いこなす本 (株)秀和システム ¥1,300」を使用します。
受講者持参品	筆記用具
講師	北陸職業能力開発大学校 講師